いばらきガーデン&オーチャードツーリズム（茨城県）

第2回（2019年）登録
茨城県公園間交流連携促進協議会

いばらきガーデン&オーチャードツーリズムでは、鳥のさえずりを聞き、花の香りを楽しみ、果物を自分の手でもぎ取って味わい、自転車を漕ぎながら雄大な風景をゆったりと眺めることができる…。そんな茨城ならではの、五感で体感する旅を提案しています。

果物や野菜などの恵みとともに

茨城は東京からも比較的近い距離にありながら、海、山、川、湖など、豊かな自然環境に恵まれています。緩やかに広がる平野と、年間を通じて穏やかな気候は、四季の花々や多種多様な果物、野菜などの恵みをもたらし、花卉（カキ）園芸なども含めた農業は茨城を代表する基幹産業となっています。サイクルツーリズムにも力を入れており、自転車で庭園や果樹園を巡るのもおすすめです。

水戸と薬草について知る

水戸は薬草と深いかかわりがあります。水戸藩第九代藩主・徳川斉昭は医療・医学に力を注ぎ、弘道館に薬草園を設けました。その歴史を現在の弘道館で学ぶことができます。「水戸市植物公園」では弘道館の薬草園を再現し、季節ごとに薬膳料理も提供しています。

果樹園と果物を満喫

石岡市八郷地区は筑波山麓の温暖な気候に恵まれ、年間を通じてブドウ、柿などさまざまな果物が実ります。直にもぎ取って味わえば、おいしさも格別。2021年春、「見る」から「感じる」へリニューアルオープンの「いばらきフラワーパーク」も注目です。

景観美を楽しむ

偕楽園からの眺めなど自然と調和した景観美は本ツーリズムの大きな見どころです。おすすめは「国営ひたち海浜公園」の青のネモフィラと「笠間つつじ公園」の赤のツツジの見ごろが重なる4～5月。青と赤の対照的な色の景色が一日で楽しめます。季節も穏やかなので自転車で巡るのも気持ちがいいですよ。

History 薬草・生薬文化が花開いた

徳川御三家の一つ水戸藩では、日々のバランスのとれた食事が病気の予防につながる「医食同源」を推奨し、薬草研究にも熱心に取り組みました。黄門様こと二代藩主・徳川光圀は、日本最古の家庭の医学書も出版しています。水戸藩が育んできた薬草・生薬文化は、「水戸市植物公園」の薬草園・水戸養命酒薬用ハーブ園において体感することができます。また、茨城は農業産出額全国3位の農業県でもあります。多種多様な花、果物、野菜の一大産地として、訪れる人を魅了しています。

パンフレットでモデルコース提案

季節の花と旬の果物を組み合わせたツーリズムを紹介するパンフレットを作成し、おすすめのモデルコースも提案。庭園散策後に果樹園で果物を味わうなど、五感で体感する旅をアピールしています。

花と果物を楽しむイベント開催

コキアの紅葉シーズンに「国営ひたち海浜公園」で果物のPRイベントを開催し、石岡市のリンゴと柿、笠間市の栗を、アンケート回答者にプレゼント。花と果物を一緒に楽しむ特徴がよく表れたイベントです。

薬膳文化と果物狩りのバスツアー

薬膳料理のランチ、柿狩りなど、江戸時代の薬草文化と果物狩りを組み合わせたオリジナルバスツアーを実施。徳川斉昭の思想「一張一弛（よく学びよく遊べ）」の現代版ともいえる体験ができるツアーです。

Area 大自然を五感で体感

自然の風景、レトロな風景など、多彩な表情をもつ茨城は映画やドラマのロケ作品数日本一。弘道館も大河ドラマの撮影などに使われています。また、自然と食材に恵まれた茨城はキャンプにもうってつけ。近年はソロキャンプが人気ですが、茨城のキャンプ場では雄大な自然を感じながら焚火をしたり、地元食材を使ったキャンプ飯を味わったり、自分好みのキャンプが楽しめます。癒しの時間と空間を、五感で存分に体感することができます。

一言お願いします！

茨城県はメロンや栗の生産量日本一です。笠間の栗は東京の老舗和菓子店や高級スイーツにも使われています。こうした自然の恵みを、花とあわせて楽しめるのが茨城の魅力。皆さんにもぜひ味わってほしいと思います。

茨城県公園間交流連携促進協議会
大塚秀二さん

詳しくはこちら https://www.facebook.com/ibarakigardenorchard/